



疾病の成り立ちと回復の促進④ 臨床栄養学 第7版

●B5判／約240頁 ISBN978-4-8404-8768-9
●2025年10月刊行

[編集]

關戸 啓子 宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科教授
河原田律子 高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科准教授
築田 誠 兵庫医科大学看護学部准教授

動画16本 収録! 

興味・理解・実践へつながる改訂のポイント!

日本人の食事摂取基準 (2025年版) に対応! 看護の視点から、臨床につながる栄養学の知識が身につく

- ・日本人の食事摂取基準 (2025年版) や健康日本21 (第三次) などに準拠。要点を絞った解説で、看護学生が押さえるべきポイントが明確になっています。
- ・看護の視点から内容を精査し、解説をアップデート。巻頭に「健康と栄養のつながり」を示す図解を新設し、栄養と看護の関連を意識しながら学べる構成です。
- ・第5章「疾患別の栄養食事療法」では、COPDや透析療法の患者に関する内容を新たに追加。また、各疾患解説の冒頭には、疾患と栄養の関係を示す図解を新設し、疾患について理解した上で、栄養食事療法を学修できる構成としました。

目次

第1章 臨床栄養学の基礎知識
第2章 食品成分と食事摂取基準
第3章 日常生活と栄養

第4章 療養生活と栄養
第5章 疾患別の栄養食事療法
第6章 栄養食事指導の実際

※2025年8月現在の情報です。内容等予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

ナーシング・グラフィカ採用をご検討の方へ

ご採用検討見本をお届けします!
お申し込み・お問合せは右記から!



お問い合わせ

MC 株式会社 メディア出版
基礎教育営業課

〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

